

しらさぎ・無所属クラブ



満足度No.1のまちを目指して

白井 照人 議員

【小1プロブレム】

問 小学校での生活や雰囲気になかなか馴染めず、落ち着かない状態が数か月続く状態である小1プロブレムの本市での事例を伺う。

問 発生要因はなにか。対応策はあるのか。

問 対応策はあるのか。学校教育部長 一人一人の多様性や学びの連続性に配慮し、教育内容や方法を工夫することが対応策として挙げられる。

問 この問題解決に向けて、パイロット校の小学校、幼稚園を決めて、数年にわたって研究を行うべきではないか。

学校教育部長 令和4年度も小学校と保育園の1校1園に研究委託をし、1年間

会議録は5月下旬に公開

3月定例会の会議録は5月下旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧いただけます。



組んでいる。

問 德育の推進に対する本市の考えを伺う。

学校教育部長 地域教育力ネットワークの夜間パトロールを始め、あいさつ運動や子供・高齢者の見守り、清掃活動など地域活動が活発に展開されており德育を推進する上で大きな役割を果たしている。

問 德育教育を市長の肝煎りで推進している自治体もあるが、見解を伺う。

市長 一朝一夕にできないが、考えていかなければならないと思っている。

【動物福祉の向上を】

問 本市の考える動物福祉とはなにか。

環境部長 動物の愛護及び管理に関する法律を基本原則とし、適切な給餌や給水など必要な健康管理が規定されており、これが動物福祉と考える。

問 以前、多頭飼育崩壊の対策について、福祉部局と連携を図ると答弁があったが、その後について伺う。

環境部長 地域の見守りを行っている福祉関係者から情報をもらい、多頭飼育の未然防止に努めている。

問 飼育放棄をした際の受け入れ体制を、ボランティア団体と構築するべきではないか。

環境部長 保護の権限はないがボランティアとの調整は行いたいと考えている。



目の前の「災害」にどう立ち向かうのか

端 文昭 議員

問 大災害が発生した際の、食料や飲料水は何日分備蓄しているのか伺う。

防災・危機管理監 切迫性が高く、想定被害が最も大きい「都心南部直下地震」の想定避難者数9750人を基に、約4日分の主食となるアルファ化米などを10万5570食分、缶詰、スूपなど9万9440食分、飲料水は約3日分のペットボトルを備蓄している。

問 大災害が起きて最も困るのは、トイレだと思いが、トイレやトイレ用備品はどの程度準備しているのか伺う。

防災・危機管理監 仮設トイレや段ボールトイレなど2210基用意している。また、簡易トイレのようなものは約13万枚用意している。

問 全国の自治体ではトイレレトレーの導入が増えてきている。導入について見解を伺う。

防災・危機管理監 学校のマンホールトイレの整備や簡易トイレの備蓄を進めており、トイレレトレーについては、導入自治体の情報を収集して検討したい。

問 主要な備蓄場所は平塚球場や平塚競輪場、小中学校などであるが、旭地区は備蓄や装備が薄いのではないか、見解を伺う。

防災・危機管理監 各備蓄倉庫などの規模が異なるた

め、数量は地域ごとに異なるが、極端な差が生じないように配備している。

問 首都圏直下型地震に対する災害状況のシナリオは描いているのか伺う。

防災・危機管理監 国や県の想定を基に、1万人弱が避難することを想定しているが、想定以上の可能性もあるため、市民には普段から備蓄などを整えてもらいたいと考えている。

問 具体的な死者数や負傷者数、建物被害数の想定はしているのか伺う。

防災・危機管理監 国や県の数字になるが、震度6弱の地震が起こった場合に、全壊棟数が500棟、死者20人、負傷者1010人という想定をしている。

問 本市は海岸林を大規模に伐採して公園を造る計画だが、海岸林は津波や高潮から住民の命と暮らしを守ってくれている。海岸林の伐採など容認できないとして、1万人以上が署名を

提出しているが、市長は住民の命よりもパーベキュー場や大きな駐車場を作ることの方が大切なのか。

市民部長 海辺の総合公園を整備することは、市民の誰もが気軽に海の魅力を享受できるように、愛着が深まっていくものと考えられる。また、本市の魅力の発信も見込まれるため、引き続き海辺の総合公園の実現に向けて事業を進めていく。

▼このほかの質問 子ども・子育て支援策について、激増する非正規職員とその待遇について、電気料金の高騰と対策について

しらさぎ・無所属クラブ 所属議員

渡部 亮 議員

江口 友子 議員

府川 勝 議員

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。



常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第18号 令和5年度平塚市一般会計予算

問 一般管理費の会計年度任用職員等雇用管理事業について、本会議でも同僚議員が質問していたが、会計年度任用職員は保育士や栄養士、保健師といった職種で、女性が多いということであった。それらの職種の時給を伺う。

答 保育士の時給は1267円、

管理栄養士の時給は1400円、保健師の時給は1550円となっている。

問 安全対策費の防犯設備整備事業について、迷惑電話防止機能付き機器購入補助を新年度に拡充する。令和4年度の実績から増額したと思うが、申請に対して申請どおり行き渡るのか見込みを伺う。

答 迷惑電話の特殊詐欺対策については2年度から実施している事業だが、機器が適合しない場合に補助が下りないケースはあったが、申請者が多いことにより補助

が受けられないということはない。

問 商工業振興費の中小企業経営支援事業について、令和5年度から導入する脱炭素・省エネアドバイザー派遣の内容を伺う。

答 中小企業等の脱炭素促進及び生産性の向上を図るために、脱炭素化に向けた生産設備や電気自動車などの導入経費の補助を行っているが、新たに中小企業の省エネに関する専門家を派遣することで、各事業者に合わせた脱炭素化について伴走支援を行い、より効

果を高めていくものである。

問 農業振興費の都市農業促進事業について、地場産品消費促進事業補助金の活用方法を伺う。

答 農業、漁業の団体を対象に、平塚産の農水産物の普及や販売促進に必要な資機材などを2分の1以内で補助している。今まで野菜出荷用の段ボールや、いちごパックのフィルムなどにベジ太を印刷したり、はるみの米袋作成も支援している。今後も売り場などで一目で地元産だと分かるようなPRができる支援をしていく。